

基本事業コード	10010001	担当課所名	吉田総合支所市民福祉課
基本事業名 吉田総合支所市民福祉事務			
総合振興計画 の位置づけ	分野	6	行財政運営
	政策	1	行政運営
	施策	-	-
			総合振興計画 75 ページ

基本事業の概要 主に吉田総合支所管内在住の市民及び近隣の市民に対し、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、福祉部等で行っている行政サービスの一部を提供して、本庁まで訪れなくても用事が済むように利便性を高める。さらに、住民と身近に接することの中から信頼関係を築き、住民との協働によるまちづくりや、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進する。また、本庁各部署と連携して事務の効率化を図る。

対象 (主に)吉田総合支所管内在住の市民/吉田総合支所職員
意図 (対象をどのようにしたいか) 地域に密着した行政サービスを提供する/効率的に事務を進められるようにする

基本事業指標	指標の算式	単位	28年度	評価年度(29年度)		31年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
地域密着サービスを行うべきと判断し事務数に占める実務数	実務数/所管すべき事務数×100	%	100	100	100	100	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			29年度	単位	事務事業評価 31年度以降の 事業の方向性 コスト・成果	重点化
		事業費(円)			実績値(下段)			
		28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額				
01	本庁総務関係共同事務	指標:			-		A	
		0	0	0			維持;維持	
02	本庁市民福祉関係共同事務	指標:			-		A	
		0	0	0			維持;維持	
03	会館維持管理事業	指標:吉田振興会館・やまなみ会館利用者			15,000	人	A	
		5,074,441	5,593,875	5,927,000	9,369		維持;維持	
04	集会所・生活改善センター等管理事業	指標:貸付地区数			14	施設	A	
		690,245	690,245	691,000	14		維持;維持	
05	集落活性化対策事業	指標:集落支援員活動回数			45	回数	A	
		96,348	88,778	263,000	34		維持;維持	
06	★ 吉田・大田地区乗合タクシー運行事業	指標:年間延べ利用者数			1,200	人	B	◎
		6,541,500	7,183,723	6,974,000	1,138		維持;拡充	
07	吉田総合支所庁舎管理事業	指標:庁舎管理不備による事故件数			0	件	A	
		16,285,581	18,568,928	18,683,000	0		維持;維持	
08	タイ王国ヤソトン市姉妹都市交流事業	指標:交流団派遣者数及び来株者数			75	人	A	
		0	0	0	86		維持;維持	
09	地域生活環境整備事業	指標:実施事業数			3	件	D	
		1,999,080	972,605	0	3		完了;完了	
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考)最終予算額(円) 34,163,000 35,547,000
 事業費の合計(円) (A) 30,687,195 33,098,154 32,538,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	30,687,195	33,098,154	32,538,000

正規職員	業務量	12.06人	10.06人
	人件費(B)	72,202,992	59,039,816
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		1.90人
	人件費		2,718,036

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 102,890,187 92,137,970

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)
 ○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 吉田総合支所市民福祉課は、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、福祉部、保険医療部等と連携し業務を行っている。また、その他にも地域に密着した各種行政サービスを提供している。主に吉田地域の住民が本庁まで訪れなくても要件が済むよう各事務事業を実施し、住民の利便性を考慮するとともに、行政サービスの窓口を充実させることを目標としているため目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 地域住民に密着した行政サービスを提供する部門であり、住民との協働によるまちづくり、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進することは市として必要なことであり、妥当と考える。また、市民に対する行政サービスの窓口として、総合支所を適切な状態に維持管理し、OA機器のリースなどで、行政サービスの効率化を進めることは重要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 吉田地域は地域が広範囲で、高齢化が進んでいる地域も多く、市民に密着した行政サービスは今後も必要とされる。また、町会関係や福祉関係の行政事務は、住民と身近に接することにより、信頼関係を築くことで住民との協働によるまちづくりや地域づくりを推進するため必要なことであり、市の関与の仕方も適切と考える。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述		
06「吉田・大田地区乗合タクシー運行事業」の、吉田・大田地区は、路線バス、電車等が運行していない一部空白の地区があるため、住民の交通手段確保のため、乗合タクシーの運行は必要不可欠な事業である。また07「吉田総合支所庁舎管理事業」は老朽化した総合支所庁舎を適切に維持管理を進めていく。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性（具体的な改善提案）を記述（改善内容、始期、終期等）		
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	引き続き、総合支所の窓口として、地域住民の様々な要望に速やかに対応できるよう、情報の共有や職員間の連絡を密にするとともに、地域振興課と連携強化に努める。	28年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 総合支所の窓口として、地域住民の複雑な要望に速やかに対応できるよう、情報の共有や職員間の連絡を密にし、地域振興課と連携強化に努める。 地域住民のため、情報共有を行い職員間の連絡を密にし要望等に速やかに対応できた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(7)組織力の向上
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案		振興会館2階、旧議会議事局の部屋をヤソトン市との姉妹都市交流事業で寄贈された記念品の展示スペースとし、希望者に自由に見学してもらうよう活用する。 展示方法等について検討中。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案	集会所・生活改善センター等管理事業について、ファシリティマネジメントの推進のため、地元町会との協議に努める。 振興会館2階、旧議会議事局の空部屋をヤソトン市との姉妹都市交流事業で寄贈された記念品の展示スペースとし、希望者に自由に見学してもらうよう活用方法を検討したい。	協働によるまちづくり推進のため、吉田地区各町会、各種団体等との連携意識を高める。吉田地区町会長連絡協議会に対しては、敬老会、よいこ祭等の共催者として連携を強化する。 各町会、各種団体と連携強化をすることで、協働によるまちづくりの推進ができた。今後も継続したい。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(1)公共施設等ファシリティマネジメントの推進
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
窓口業務の充実、既存施設の有効活用により、市民満足度の向上が見込まれる。また、集会所・生活改善センター等の管理事業についての地元町会との協議は、ファシリティマネジメントの推進につながる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	浅見 一男	電話番号 0494-72-6082
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	10020001	担当課所名	吉田総合支所地域振興課
基本事業名 吉田総合支所地域振興事務			
総合振興計画 の位置づけ	分野	6	行財政運営
	政策	1	行政運営
	施策	-	-
			総合振興計画 75 ページ

基本事業の概要 吉田総合支所管内の市民に対して、本庁の環境部、産業観光部、地域整備部で行っている行政サービスの一部を提供して利便性を高めるとともに、自主事業として指定管理者と連携し、吉田元気村等の指定管理施設への誘客を行い、地域産業の振興を図る。

対象 吉田支所管内の市民及び吉田を訪れる方
意図 (対象をどのようにしたいか) 地域に密着したサービスを提供するとともに、地域振興を図り観光誘客を推進する。

基本事業指標	指標の算式	単位	28年度	評価年度(29年度)		31年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
吉田地域を訪れる入込観光客数	本年度来客数	人	477,797	490,000	462,322	490,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			29年度	単位	事務事業評価 31年度以降の 事業の方向性 コスト・成果	重点化	
		事業費(円)			目標値(上段)				
		28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	実績値(下段)				
01	本庁環境部との共同事業	指標:	-	-	-		A		
		0	0	0			維持;維持		
02	本庁産業観光部との共同事業	指標:	-	-	-		A		
		0	0	0			維持;維持		
03	本庁地域整備部との共同事業	指標:	-	-	-		A		
		0	0	0			維持;維持		
04	農業関連施設維持管理事業(吉田地区農村公園管理費)	指標:施設数	2,338,104	2,338,104	2,339,000	3	施設	A	
			2,338,104	2,338,104	2,339,000	3		維持;維持	
05	自然公園施設等維持管理事業	指標:管理業務実施回数	35,527	37,631	38,000	14	回	A	
			35,527	37,631	38,000	14		維持;維持	
06	山逢の里誘客管理事業	指標:利用人数	3,121,881	5,980,749	3,909,000	7,000	人	B	○
			3,121,881	5,980,749	3,909,000	6,876		維持;拡充	
07	高齢者生産活動センター維持管理事業	指標:売上高	2,730,109	2,150,689	1,891,000	48,000	千円	A	
			2,730,109	2,150,689	1,891,000	46,811		維持;維持	
08	龍勢会館誘客施設管理事業	指標:利用人数	3,359,383	5,888,743	7,647,000	11,000	人	B	○
			3,359,383	5,888,743	7,647,000	8,317		維持;拡充	
09	みどりの村関連誘客施設管理事業	指標:利用人数	670,993	670,993	671,000	2,000	人	B	
			670,993	670,993	671,000	1,884		維持;拡充	
10	吉田石間交流学習館施設維持管理事業	指標:利用人数	2,171,147	2,213,290	2,244,000	400	人	B	
			2,171,147	2,213,290	2,244,000	325		維持;拡充	
11	城峯山ふれあいの森誘客施設管理事業	指標:利用人数	1,998,960	1,998,960	1,975,000	200	人	B	
			1,998,960	1,998,960	1,975,000	43		維持;拡充	
12	元気村誘客施設管理事業	指標:利用人数	7,380,000	11,832,790	10,010,000	23,000	人	B	◎
			7,380,000	11,832,790	10,010,000	15,860		維持;拡充	
13	上下流交流事業	指標:イベント参加者	67,313	52,979	0	100	人	D	
			67,313	52,979	0	115		完了;完了	
14		指標:							

(参考) 最終予算額(円)	24,533,000	34,272,000	
事業費の合計(円) (A)	23,873,417	33,164,928	30,724,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	37,800	37,800	
	地方債			
	その他特定一般財源	119,050	90,200	
		23,716,567	33,036,928	30,724,000

正規職員	業務量	7.00人	8.00人
	人件費(B)	41,908,867	46,950,154
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	0.78人	0.78人
	人件費	951,243	1,003,102

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)	65,782,284	80,115,082	
--------------------------	------------	------------	--

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)
 ○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 農業関連施設、観光関連施設の入込客数を増大することにより地域の活性化が図れる。行ってみたい住んでみたい街づくりを推進することで多くの観光客が訪れることになるため、指標の設定は妥当である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 本庁環境部、産業観光部、地域整備部と連携して吉田地域の振興を図っている。幹線道路の整備、遊休農地対策、龍勢を始めとする観光の推進など、地域住民の生活環境の向上とともに、自然に親しむ集客イベントを行っている。また、道の駅龍勢会館を拠点とする情報の発信等、各観光施設の管理運営を指定管理することにより効率的な運営を行っている。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 行政事務に関しては秩父市で行うことが適切であり、施設管理については条例により指定管理者を指定して管理することが適切である。また高齢者活動生産センター等については、市の第三セクター「(株)龍勢の町よしだ」で運営することにより、六次産業化等の推進や特産品開発による地域の活性化に寄与できるため妥当である。

◆改善提案◆ (事中評価の際の改善提案を含む)

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述		
元気村、山逢の里は吉田地区で利用者数の多い宿泊施設であり、利用者が拡大すれば基本事業指標である入込客数が増加するとともに、周辺施設に与える経済効果も高いため重点化した。		
さらに、龍勢会館を含む市内施設を管理運営する第三セクター(株)龍勢の町よしだについては、経営の合理化や社員の処遇改善を目指し、(株)ちちぶ観光機構との合併を推進した結果、合併決定に結び付けた。平成30年6月の正式合併に向けて着実に準備を行い、合併後の安定した経営を目指す必要があるため、第三セクターが指定管理者となり運営する施設管理事業を重点化した。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
上下流交流事業	荒川水系の上下流域域の交流として実施してきたが、所期の目的を達成したため、今後は野外水道教室として実施することとなった。	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	秩父吉田の龍勢が国の重要無形文化財に指定されたことを契機に、より一層のおもてなしサービスが提供できるよう指定管理者との連絡調整体制を強化し、吉田地域全体の誘客効果に繋がるように努める。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(5)民間活力の活用促進
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案		
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案	合併により最大の経営合理化を図った第三セクター(株)龍勢の町よしだの運営について、収益性、効率性、生産性、将来性を考慮した合併後の安定経営を目指し、関係機関との調整に努める。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(5)民間活力の活用促進
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
秩父吉田の龍勢が国の重要無形文化財に指定されたことを契機に、各施設の指定管理者との連絡調整体制を強化し、より一層のおもてなしサービスの提供に努めることで、リピーターの増加、その他周辺施設の利用も拡大し、吉田地域全体の誘客効果に繋がる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	柳原 徳男	電話番号 0494-72-6083
----------------------	-------	----------------------